

関連項目：教育活動プラン⑤

きまりを守る大切さを実感させる

目的

本校の児童は、明るく元気な反面、社会性チェックリストの結果から規範意識や自尊感情がまだ不十分という結果が出ています。そこで、「自己指導能力を育てる積極的な生徒指導」の目標のもと、規範意識や自尊感情の高揚に努め、基本的な生活習慣を定着させることに全職員で取り組んでいます。

内容

● 川添小学校の3つの宝づくり

「心のこもったあいさつができる」「廊下や階段を静かに歩くことができる」「無言で清掃ができる」の3つを全校生に呼びかけて学校の宝づくりをしています。そのためにあいさつ、廊下歩行、清掃の生活目標を、3回ずつ繰り返し実施して定着を図っています。

また、きまりを守り、その大切さを実感させるために、自己評価カードを配布し、毎日の評価やその月の振り返りを朝の会・帰りの会等で実施することにより、望ましい行動ができるようにしています。



<自己評価カード>

● グッドマナーカードの活用

あいさつ、廊下歩行、清掃の重点生活目標の月には、全教職員で児童のよさを見つけ、模範的な子にグッドマナーカードを配り、承認・賞賛の機会を増やすことにより、自尊感情を育成するよう努めています。特に低・中学年では、目標達成に向けて毎日がんばる児童が増えてきました。自己評価カードに10枚以上グッドマナーカードをはっている児童も見られるようになりました。

重点目標の廊下歩行の月には、運動・安全委員会が次のような取り組みをしました。

- 全校朝会で、「廊下や階段の右側を歩こう」という生活目標と守ってほしいことを、呼びかけや寸劇で紹介しました。
- 昼休みに各ポイントに待機して、廊下の歩き方を点検し、走っている児童には「ストップ10」と言って10秒間立ち止まらせたり、よくできている児童にはグッドマナーカードを配ったりしました。



<廊下歩行のポスター>

● あいさつ声かけ運動

「川添校区子どもに一声運動の会」の方と一緒に朝のあいさつ運動を2ヶ月に1回実施しています。6年生から1年生まで、この運動に参加します。川添小学校の仲間をあいさつで迎えようと、子どもたちは自主的に参加しています。

また、半数近い子どもがスマイルリーダーとなり、スマイル手帳にシールをはることを励みにして進んであいさつしたり、下校時に教室の前でみんなにあいさつをしたりできるようになりました。



<朝のあいさつ運動>

成果

これらの取り組みにより、社会性チェックリストの1回目と2回目を比較すると、全校平均であいさつ（基本的な生活習慣）が3.1→3.2、廊下歩行（規範意識）が2.8→3.0、清掃（実践力）が3.4→3.5と上向きました。学校の宝づくりに向けて、全校で繰り返し取り組むことにより少しずつ成果が上がっています。